



ドクター・ワッシー

診察室

ざくばらん

不安強い場合 症状もひどく

収束型緊張型頭痛

沈黙は金という。が、患者さんはおしゃべりのほうが良い。「ウン」しか言わないと、医者の頭が痛くなる。

23歳のY子さん。頭痛の患者さんだ。つけまつげにバッチリお化粧もしている。が、なぜか、ご機嫌が悪い。若い先生ではなく、「コワそうな爺さまセンセのせいかな。」

とにかく、彼女は、何を聞いても「ウン」しか言わない。仕方なく、「いつもの頭痛ですか?」と誘導尋問。「ウン」と頷く。で、「ズキンズキンする?」「に「ウン」。「締め付けるみたい?」にも「ウン」なのだ。まるで、幼稚園児と話しているみたい。

頭痛は、患者さんから話を聞いた

だけで、8、9割がた診断がつくものである。こわい病気がどこかなど、大方分かるのである。仕方なく、一緒に付いてきた母親から話を聞く。

どうやら、Y子さんの頭痛は、一次性的頭痛の「緊張型頭痛」が疑わしい。

一次性的頭痛とは、いつも起きる慢性的の頭痛だ。それは、予告なしに時々やってくる。Y子さんの頭痛は、窮屈な帽子をかぶったようなイヤーなやつだ。5、6日前からずっと我慢していた。が、なぜかいつものように市販薬が効かない。コワイ病気でも?と不安になった。

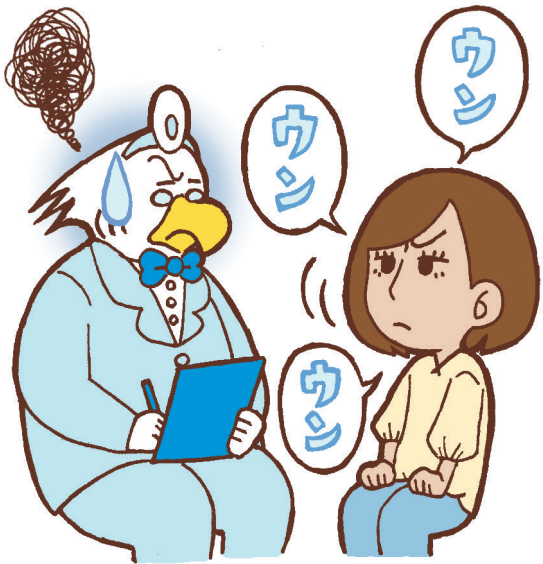
緊張型頭痛は女性に多い。典型的な頭痛は、頭の周りをハチマキ状に締め付けるような痛みだ。ストレスによって起こり、後ろ首やこめかみあたりの筋肉が硬くなっている。いつもと経過が違つと、Y子さんのように不安が強くなって受診する。

不安が強いと、頭痛もひどくなる。不安を除くためにも、MRI(磁気共鳴画像装置)の検査は欠かせない。

で、異常がないと分かったY子さん。コロリと変わって、ペラペラしゃべる。ま、気持ちに分からないわけではない。が、受診する前には、自分の訴えをくろこ、整理しておいてほしい。

(石黒修三 いしぐろクリニック

・脳神経外科専門医、金沢市在住、射水市出身)



イラスト・野畑桃花